



EAワークショップ 評価力を上げるための 目的・計画の作り方

日時：平成28年12月16日（金）

10:30 ~ 17:30

場所：学術総合センター 10階

（東京都千代田区一ツ橋2-1-2）

大学改革支援・学位授与機構

竹橋オフィス 1012会議室

参加費：無 料

定員：30名（定員の都合上、先着30名まで）



Evaluability Assessment Step 1,2

【申込み方法】

以下URLの入力フォームから必要事項を送付ください。

https://www6.webcas.net/form/pub/niad/ea_workshop

【問合せ先】

大学改革支援・学位授与機構 評価事業部 評価企画課 企画第2係

E-mail：hyokikaku2@niad.ac.jp

参加申込用
QRコード



ワークショップのねらい

大学改革支援・学位授与機構は、自己評価能力を向上させるための基本的な視点を学びながら、大学が抱える課題や問題を把握し、その解決方法を探りながら目的・計画を立案すること、さらには、こうした目的・計画に即した適切な指標の設定方法を学ぶために、本機構のEA

(Evaluability Assessment) 研究会で開発している教材及びコンテンツを基に、ワークショップを開催しています。

今回は、教材の全行程（ステップ1～3）のうち、ステップ1「関係者の把握、課題・問題の分析」及びステップ2「目的の整理、計画の作り方」を対象としたワークショップを開催したいと思います。また、事例教材（演習課題）も学生募集をテーマに新たに開発し、以前参加された方も、初めての方でも参加いただける研修会となっております。

タイムテーブル

10:30-10:45	主催者挨拶及び趣旨説明
10:45-11:45	講義：EA ツールの紹介
(11:45-11:55)	休憩・座席レイアウト変更
11:55-12:30	演習1：ステップ1（前半）
(12:30-13:30)	昼食・休憩
13:30-15:35	演習1：ステップ1（後半）と結果発表
(15:35-15:55)	休憩
15:55-17:10	演習2：ステップ2と結果発表
17:10-17:20	グループワークの振り返り
17:20-17:30	総括
18:00-19:00	情報交換会（任意参加、会費制）

ツールの各段階と獲得が期待されるスキル・研修内容

段階	EA教材の内容	獲得することが期待されるスキル
	研 修 内 容	
ステップ1 (今回のテーマ)	関係者（ステイクホルダー）の把握、課題の分析	<ul style="list-style-type: none"> ○自大学の現状と課題を体系的に整理するスキル ○大学の諸活動の中から発見した課題及びその周辺にある関係情報との因果関係の整理するスキル
	<ul style="list-style-type: none"> ・関係者を把握し、大学の諸活動から複数の課題を挙げ、その原因を考えつつ課題のグループ化をする。 ・あらかじめ設定した中心的な課題とグループ化した課題を関連づける。 <p>◇中心的な課題及び複数挙げた課題の因果関係を明確にする。</p>	
ステップ2 (今回のテーマ)	目的の整理、計画の作り方	<ul style="list-style-type: none"> ○課題の因果関係を整理し、解決・改善へアプローチするスキル。 ○目的系図を作成し、計画アプローチを見い出すスキル。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ステップ1で分析した「課題（こういう原因でこういう課題が発生している）」を「これをやれば（手段）この課題が解決できる（目的）」のようにリバースして、目的系図を作成する。 <p>◇課題が適切に関連づけられた目的系図は「改善計画」を見い出しやすくなる。</p> <p>◇解決と改善のアプローチを見い出す。</p>	
ステップ3	指標デザインとデータの整理	<ul style="list-style-type: none"> ○計画実施において必要となる指標を適切に見い出すスキル。 ○見い出した指標の現況を把握し企画を実行させるスキル。 ○見い出した指標を用いて達成管理をするスキル。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ステップ2における改善計画を現実化すると、どの指標がどのような状況になるのか考える。（課題は「目的→手段」という単位で最初に整理をしているため、この単位ごとに指標を考えていく。） <p>◇見い出した指標の状況により改善計画の進行（達成）管理をするという、評価担当者の責務を果たすためのヒントを見い出す。</p>	
ステップ4 [ツール構築中]	効果的・効率的な評価	○評価の目的を明確にし、協力体制の構築や評価結果を有効に活用するためのマインドセットに繋げるスキル